

美園小だより

平成30年5月15日

すべての子どもと先生が

「**楽しい学校**」そして「**感動ある1年**」

にできる学校をめざします

館林市立美園小学校長 榊 澤 聡

新1年生のご入学と新学年へのご進級おめでとうございます。
今年度は、53人の新1年生を迎えて児童447人、教職員38名で出発しました。

本校は「**かしこく なかよく たくましく**」を学校教育の目標にしています。

- ◎かしこく → 自ら学ぶ子 (主体的・対話的な学びができる子)
- ◎なかよく → 心豊かな子 (思いやりや協調性がある子)
- ◎たくましく → 活力のある子 (心と体が健康で体力・活動力がある子)

上記を目指す児童像としています。このため、各学年でさまざまな授業や学校行事などの体験活動を行いながら一人一人の力を伸ばしていきたいと思えます。そして、学級担任と、学年、専科、管理職など複数の目で子どもの姿を見つめ、5・6年生では一部教科担任制を取り入れていきます。また、平成30・31年度は「ぐんまのこどもの体力向上推進モデル校」の指定を受け、楽しくスポーツに取り組む子どもたちを育てていきたいと思えます。

1 楽しい学校にするために

- (1) 子どもたちと教師の心がふれあう時と場を大切に、一人一人の子どもの思いや願いを受け止め、認め、ほめ、励ます**温かさ**と、善悪を公正に判断させる**厳しさ**をもっていじめを許さない秩序ある集団を作ります。その安心感の中で互いを思いやり協力できる信頼感ある**楽しい学校や学級**を作ります。
- (2) 明確な発問や指示と、子ども一人一人の学習達成状況の確認を指導の基本として、しっかり教え、じっくり考えさせて、どの子ども、**わかった、できた、ほめられた**という満足感が得られる**楽しい授業**づくりを進めます。

2 感動ある1年にするために

- (1) 学校行事や体験的な学習などで、子どもたちと教師がともに作った目標に向かって頑張る機会を作り、自己の**体力・技術の向上や集団での協力の喜びや達成感**を味わえる工夫をします。
- (2) 自分たちだけでなく、運動会や授業参観などで、**家族や地域の方に**頑張る姿や完成された演技を披露して**感動**を与えられるようにします。また、お世話になっている方に**挨拶や感謝の言葉**が伝えられるようにして、心を育む経験をさせます。

3 そのほかの重点項目

- (1) 子どもたちのゆとりのため、業務の効率化と宿題の量の見直しをします。そして、いつも教師が疲労感のない明るい笑顔で子どもたちと接することができるようにします。
- (2) 特別支援教育の理解に全校一致して取り組み、子どもたちの特性を生かした支援をします。
- (3) 子どもの安全や危機管理に最大の注意を払います。登下校の安全確保や早退時の連絡徹底を図ります。また、運動時のけが・熱中症予防の指示、アレルギーやけが・事故の際の対応や緊急対策マニュアルの熟知を徹底します。
- (4) 道徳の教科化や小学校英語、新学習指導要領などの変化への対応準備を行います。必要に応じて、家庭や地域に情報発信をします。

これらを進めるには、ご家庭との連携が必要不可欠です。今年度もご理解ご協力をお願いいたします。